

第3次明石市農業基本計画策定にかかる畜産農業者アンケート結果

【調査期間】 令和6年7月9日から7月31日

【調査対象者】 市内畜産農業者 3戸

【回収率】 66.7% (2件回収)

問 1 今後の経営の意向について、該当するものにを入れてください。

経営の意向	世帯数	備考
現状維持	0	
規模拡大	2	うち1世帯は牛舎が古いので新しく立て替えたい意向
規模縮小	0	
合計	2	

問 2 おおよそ10年後(2034年頃)の経営体制について、該当するものにを入れてください。

経営体制	世帯数
現在と同じ	0
後継者に引き継ぐ	1
現時点では後継者がおらず未定	1
合計	2

問 3 経営において、現在困っていること、また、今後10年間(2034年頃まで)で特に問題になりそうなことを教えてください。(3つまで)

経営で困っていること	世帯数	経営の意向	世帯数
後継者・労働力不足	0	預託料の高騰	0
資材・飼料等の高騰	2	借入金の返済	1
生乳価格の下落	0	近隣住人の苦情	2
税金(相続税、固定資産税)	0	子牛(肉牛)の販売価格の下落	0
機械・施設の更新	1	販路	0
合計			6

問 4 今後 10 年間（2034 年頃まで）で、特に力を入れて取り組みたいことを教えてください。（いくつでも）

特に力を入れて取り組みたいこと	世帯数
後継者の育成	0
飼養技術の向上	2
機械や I C T の導入による作業の効率化	1
新たな販路の開拓等による販促	0
環境にやさしい畜産業の確立（堆肥の供給、牛由来メタンの抑制 等）	1
加工品の生産・販売や 6 次産業化の取組み	0
自給飼料の生産	0
酪農ヘルパー等の外部支援組織の活用	0
畜産農家同士の連携強化（飼料の共同生産、情報交換 等）	0
耕種農家との連携強化（飼料用米・W C S の生産、稲わらの提供 等）	1
地域や近隣住人の理解醸成やコミュニティの形成	1
合計	6

問 5 今後 10 年間（2034 年頃まで）で、明石市の畜産業をよりよくするために、どんなことに力を入れるべきだと思いますか？（いくつでも）

力を入れるべきだと思うこと	世帯数
認定農業者や中核的農家の育成・支援	0
新規就農者や若手農家の育成・支援	0
機械導入や施設整備等の支援	2
耕畜連携の推進	2
環境にやさしい畜産業（堆肥の供給、牛由来メタンの抑制 等）の推進	2
農業と福祉の連携（障害者や高齢者が農業に携わる機会の提供等）	0
地産地消の推進	0
自給飼料生産の支援	0
販路拡大とブランド化（明石産のプロモーション）	0
市民や子どもたちへの酪農の P R	1
合計	7